

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	総合政策部	
	17095	行政情報提供事業		課名	政策課 広報秘書G	
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進			款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進			項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-		目		02:広報活動費	
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等				

② 目的・概要	対象	ケーブルテレビ加入世帯
	目的	ケーブルテレビという「動画」の特性を活かして、市の各種施策・制度やイベントなど、地域に密着した情報を提供することにより、市民の自分が住んでいるまちとしての愛着を高める。また、本市の魅力動画を市内外へ発信し、本市の知名度とまちのイメージの向上につなげる。
概要	ケーブルテレビ加入世帯に対し、市の各種施策・制度やイベント情報などを盛り込んだ行政番組を制作・放送する。また、シティプロモーション推進事業と連携し、定住促進に向けた番組を制作し、市内外へ発信する。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借	○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器の賃借及び保守 ・文字情報放送機器の更新検討 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借	○行政情報番組制作及び保守管理 ・行政情報提供機器、デジタル放送機器の賃借 ○文字情報の提供及び保守管理 ・文字情報放送機器保守 ・文字情報放送機器の更新準備 ○CATV周波数帯域及び光ファイバーケーブルの賃借	
	年度実績	○行政情報番組制作・保守管理業務 ・年間53番組制作(通常49、ダイジェスト4) 市民741回、高校生9回、中学生3回 市民74出演協力10回 ○文字情報の提供・保守管理業務 ・イベント・募集、災害、選挙情報を放送 ○CATV周波数帯域・光ファイバーC賃借	○行政情報番組制作・保守管理業務 ・年間52番組制作(通常48、ダイジェスト4) 市民740回、高校生9回、中学生3回 市民74等出演協力10回 ○文字情報の提供・保守管理業務 ・イベント、募集、災害、選挙情報を放送 ・文字情報放送機器の更新検討(防災安全課と協議、2020年度に更新) ○CATV周波数帯域・光ファイバーC賃借		
事業費	計画額	事業費	24,900千円	24,800千円	25,600千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	24,900千円	24,800千円	25,600千円	
	予算額	事業費	24,574千円	24,472千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
その他					
一般財源	24,574千円	24,472千円	0千円		
決算額	事業費 ①	24,348千円	23,969千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	24,348千円	23,969千円	0千円		
人件費	総人件費 ②	3,840千円	3,892千円		
	一般職員	3,840千円	3,892千円		
	所要人員	0.50	0.50		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		28,188千円	27,861千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

				平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称 年間制作番組数	活動	計画値	52	52	52
			実績値	53	52		
			単位	番組	番組	番組	
	②	名称 市民アナウンサー・レポーターの活用回数	活動	計画値	52	56	60
			実績値	63	62		
			単位	回	回	回	
	③	名称 市外への番組提供数 いこか連携等を活用した市外における、来訪促進や定住促進に関する番組提供数	活動	計画値	4	5	6
			実績値	4	4		
			単位	番組	番組	番組	

⑤ 事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 市民アナウンサーの募集や、中学校、高校へのアナウンサーの協力依頼を適切な時期に行う。市民参画による番組づくりができるよう、担当部署との番組企画書の調整段階から、市民や市民活動団体の有無について確認を行う。シティプロモーション戦略のキャッチフレーズ「住めば、ゆうゆう。」を意識し、市民や市職員など自らがまちの魅力を発信する役割を担っているという認識を持って番組づくりを行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 市民アナウンサーの募集、中学校・高校へのアナウンサー協力依頼が適切な時期に行えるよう年間スケジュールを確認して業務を進めた。市民や市民活動団体などに積極的に番組づくりに関わってもらえるよう、担当部署と協議を行い、番組企画書を調整した。自らがまちの魅力を発信するという意識を高めるため、市民参画で取り組んでいるシティプロモーションの取組を紹介する番組を放送した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 年間を通じて、行政情報番組を計画どおり制作・放送できた。市内3中学校の生徒など、市民アナウンサーの協力を得て番組を制作することができた。昨夏開催されたインターハイで司会を務めた亀山高校放送部の活動を(株)ZTVとともに支援し、アナウンス研修(2回)・カメラスキルアップ研修(1回)を実施した。市の創業支援策を活用して創業した方の実際の声をまとめた番組や、様々な職種が連携・協力して患者の在宅医療を支える「かめやまホームケアネット」を紹介する番組を特集番組として制作した。防災安全課と文字情報システムの必要性について協議し、経年劣化に対応する機器更新を第2次実施計画に位置付けた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 市民アナウンサーの番組司会や、中学生・高校生・市民活動団体等の出演協力を得ることで、市民に親しまれる番組づくりにつながった。インターハイを契機に、亀山高校放送部の活動を(株)ZTVと支援するとともに、現場での模様をニュースとして放送することで、高校生など若者の本市に対する愛着の醸成につながった。市の魅力や独自の取組を紹介する特集番組を制作し、市ホームページやシティプロモーション専用ホームページの動画サイトに掲載することで、それらを市内外へ発信することができた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 市民や中高生アナウンサーの活用を継続するとともに、市民や市民活動団体の方の積極的な番組づくりへの参画を促し、市民に親しまれる行政情報番組を制作する必要がある。また、市シティプロモーション戦略の考え方を踏まえ、市民や市民活動団体など自らがまちの魅力を発信したり、まちに対する愛着や誇りが高まるような番組づくりを行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 市民アナウンサーの募集や、中学校、高校へのアナウンサーの協力依頼を適切な時期に行うとともに、番組づくりに対する新たな参画を呼び掛ける。番組制作の企画段階から市民や市民活動団体などに出演していただく機会がないかを意識しながら調整を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市民や市民活動団体が番組制作に関わることで、親しみやすい番組づくりにつながり、市政情報などを広く周知でき、まちへの愛着の醸成が図られる。中学生や高校生に番組づくりに関わっていただくことで、ふるさとに対する想いやこのまちに住み続けたいという気持ちが高まるのが期待できる。	
対応時期		令和元年度～	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A			
	成果	A	A			